



# PDF入稿の手引き

(PDF/X-1a)

## CONTENTS

■ PDFについて

■ PDF/Xについて

## PDF入稿の為の初期設定

■ アプリケーションのカラー設定 (Illustrator、InDesign、Photoshop)

■ PDF/X-1a用プリセットの設定 (InDesign CS)

■ PDF/X-1a用プリセットの設定 (Illustrator/InDesign CS2～CS4)

■ 新規ドキュメントの設定 (Illustrator CS～CS4)

■ 新規ドキュメントの設定 (InDesign CS～CS4)

## PDFの書き出し手順

■ PDFの書き出し手順 (Illustrator CS～CS4)

■ PDFの書き出し手順 (InDesign CS～CS4)

## プリフライトチェック (Acrobat)

## データ作成の注意

## データ入稿の準備

## PDFについて

PDFは“Portable Document Format”の略で、Adobeが開発した電子文書フォーマットです。

すでにさまざまな分野で活用されているPDFですが、印刷用データの入稿フォーマットとしてもPDFは最適です。

お客様が安心できる入稿手段、そして作業効率やメリットを追求するのなら、当社はPDF入稿をお勧めいたします。

## PDF/Xについて

PDF/Xは、印刷上のトラブルの原因となるカラー、フォント、配置画像などの諸設定の運用を制限し、円滑な印刷工程を実現するもので、デジタルデータを印刷会社へ入稿する際の統一フォーマットとして、2001年にISO(国際標準化機構)に認定されたPDFのフォーマットの一つです。PDF/Xにはいくつかの種類があり、主なものとして「PDF/X-1a」、「PDF/X-3」、「PDF/X-4」が挙げられます。「PDF/X-1a」は従来からの印刷工程の内容を特に重視した規格になっています。

	Acrobat PDF1.3 (PDF/X-1a・X-3)	Acrobat PDF1.4	Acrobat PDF1.5	Acrobat PDF1.6 (PDF/X-4)
日本語フォントの 埋め込み	○	○	○	○
OpenType フォントのサポート	×	○	○	○
透明機能のサポート	×	○	○	○
JPEG2000形式の サポート	×	×	○	○

# アプリケーションのカラー設定

## 弊社推奨カラー設定

設定:「プリプレス-日本2」

CMYK作業スペース:「Japan Color 2001 Coated」

RGB作業スペース:「Adobe RGB」



各アプリケーションで共通のカラー設定を行いましょう。

「いつもはPhotoshopでRGBカラーの画像をCMYKカラーに変換し、Illustratorに配置していたが、今回に限ってIllustratorに直接RGBカラーの画像を埋め込みしたところ、出来上がった印刷物を見ると同じ画像なのに前回と色が変わっていた。」

これはカラー設定が異なるソフトウェア間で作業をしたことがトラブルの原因と考えられます。

Photoshop、Illustrator、InDesignには、それぞれソフトウェア毎にカラー設定があります。この設定が違えば、同じRGB画像でもソフトウェアによって異なった色に変換されてしまったり、画面上の見た目も変わってしまいます。

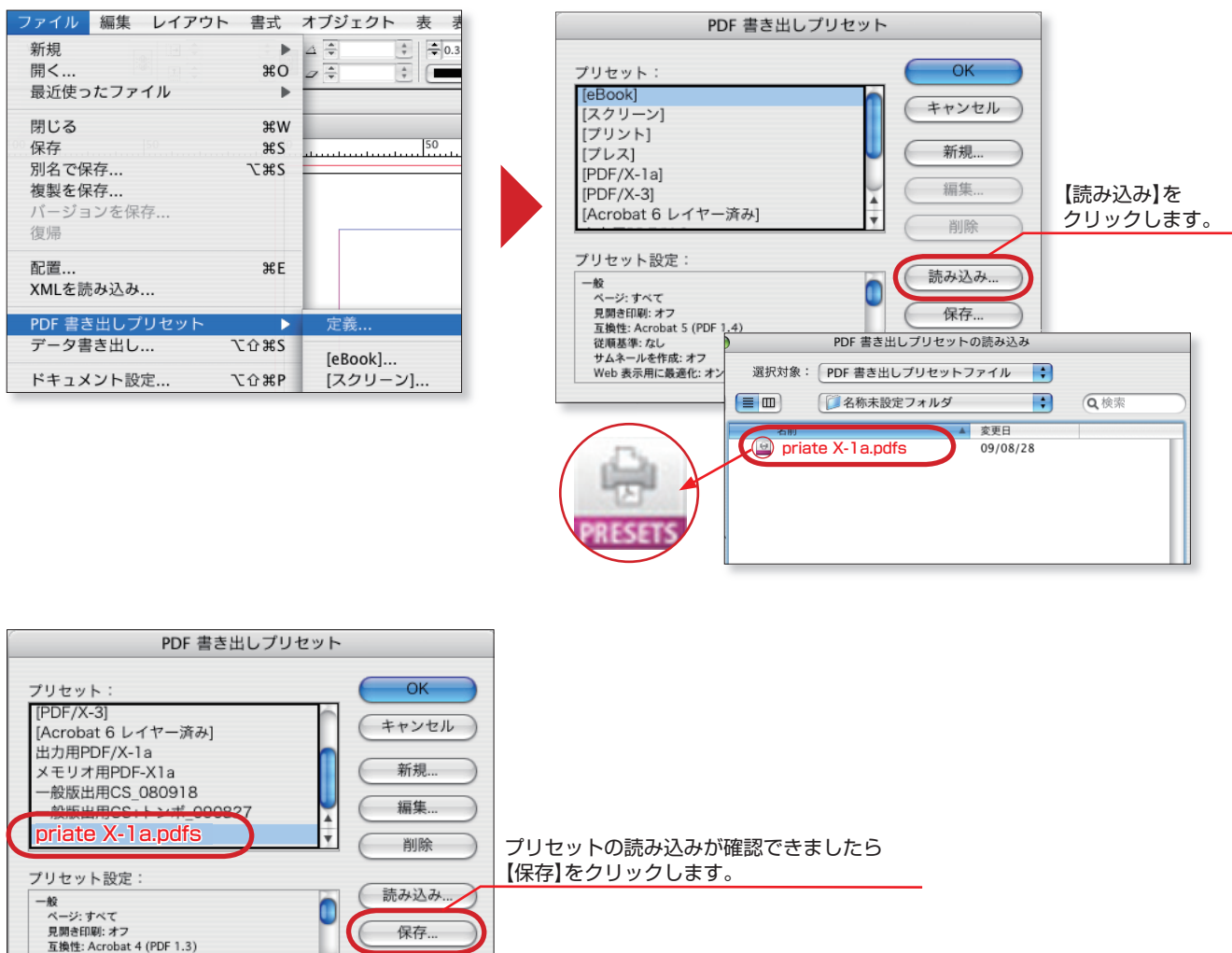
Illustrator 9 以降では、「CMYKモードのドキュメントにRGBカラーの画像を埋め込み」したときやEPS形式以外のRGB画像を配置し、「配置した画像を含む」のチェックを入れて保存すると「カラー設定」を参照してCMYK変換が行われます。

このように、様々なところでカラー設定が影響しますので、使用されるソフトウェアのカラー設定は、すべて同じ設定に統一しましょう。

# PDF/X-1a用プリセットの設定 (InDesign CS)

InDesign CSでは、PDF書き出しの設定が保存されたプリセットを読み込むことで、書き出し作業を効率化することができます。弊社での印刷に適した設定「[priate X-1a.pdfs](#)」を提供しています。

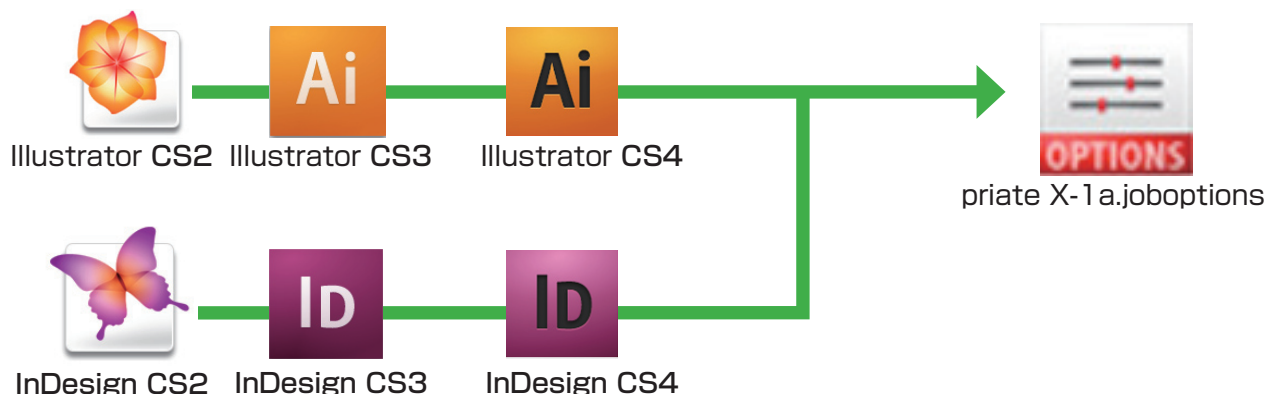
「ファイル」→「PDF 書き出しプリセット」→「定義」から【読み込み】ボタンをクリックし、弊社WebサイトよりダウンロードしたPDFプリセットファイル「[priate X-1a.pdfs](#)」を読み込みます。



以上でInDesign CSのPDFプリセットから「[priate X-1a.pdfs](#)」を選択することができるようになります。

# PDF/X-1a用プリセットの設定 (Illustrator/InDesign CS2~CS4)

Illustrator CS2/CS3/CS4、InDesign CS2/CS3/CS4では、PDF書き出し時の設定が保存されたジョブオプションファイルをインストールすることで、書き出し作業を効率化することができます。弊社での印刷に適した設定「[private X-1 a.joboptions](#)」を提供しています。



弊社Webサイトよりダウンロードしたジョブオプションファイル「[private X-1 a.joboptions](#)」を以下のフォルダにインストールして下さい。

## CS2

### [MAC]

Library → Application Support → Adobe PDF → Settings

### [Win]

Documents and Settings → All Users → Shared Documents → Adobe PDF → Settings

## CS3/4

### [MAC]

Users → [ ユーザ名 ] → Library → Application Support → Adobe → Adobe PDF → Settings

### [Win]

Documents and Settings → [ ユーザ名 ] → Application Data → Adobe → Adobe PDF → Settings

Illustrator/InDesign CS2~CS4のPDFプリセットから「[private X-1 a.joboptions](#)」を選択することができます。

# Illustrator 新規ドキュメントの設定

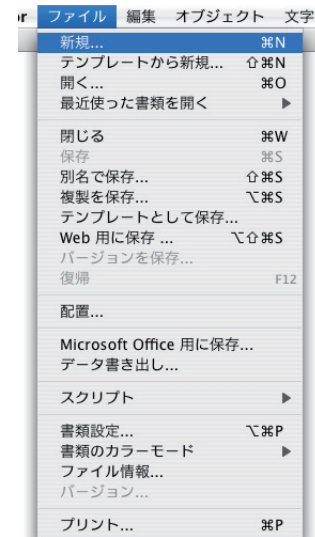
## ドキュメント設定

### ● Illustrator CS～CS3

「ファイル」→「新規」を選択します。

アートボード設定：仕上げサイズにします。

カラーモード：【CMYKカラー】にチェックを入れます。



### ● Illustrator CS4

「ファイル」→「新規」を選択します。

アートボードの数：表裏がある場合は「2」と入力します。

サイズ：仕上げサイズを選択します。

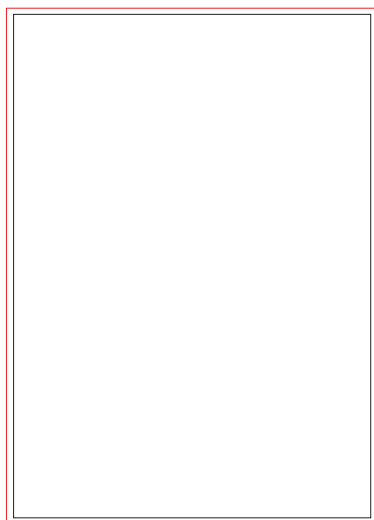
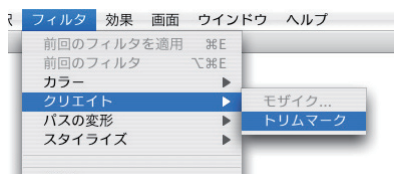
裁ち落とし：天地左右 各3mmにします。

カラーモード：【CMYKカラー】を選択します。

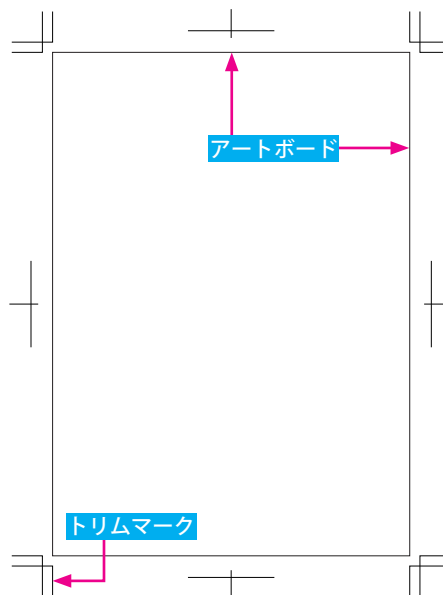


## トリムマークの設定

### ●Illustrator CS～CS3共通



アートボードに合わせて、ボックスを描きます。  
「フィルタ」→「クリエイト」→「トリムマーク」を選択すると  
トリムマークが作成されます。

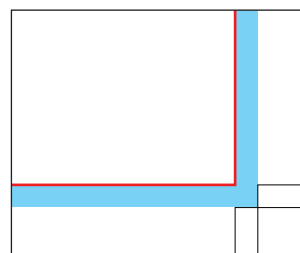
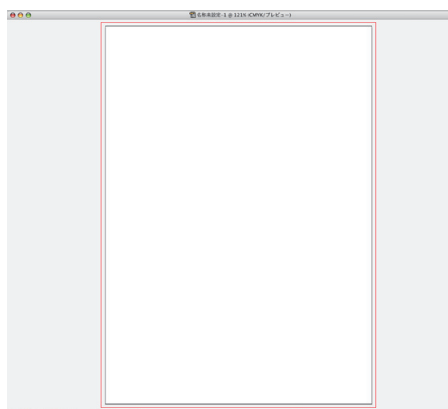


### ●Illustrator CS4

アートボードのサイズが「仕上がり線」として黒枠で表示されます。

また、「裁ち落とし」を設定することで「塗り足し線」が赤枠で表示されます。

トリムマークは作成する必要はありません。最終的に作成するPDFは塗り足し込みのサイズでトンボがついていない状態となります。

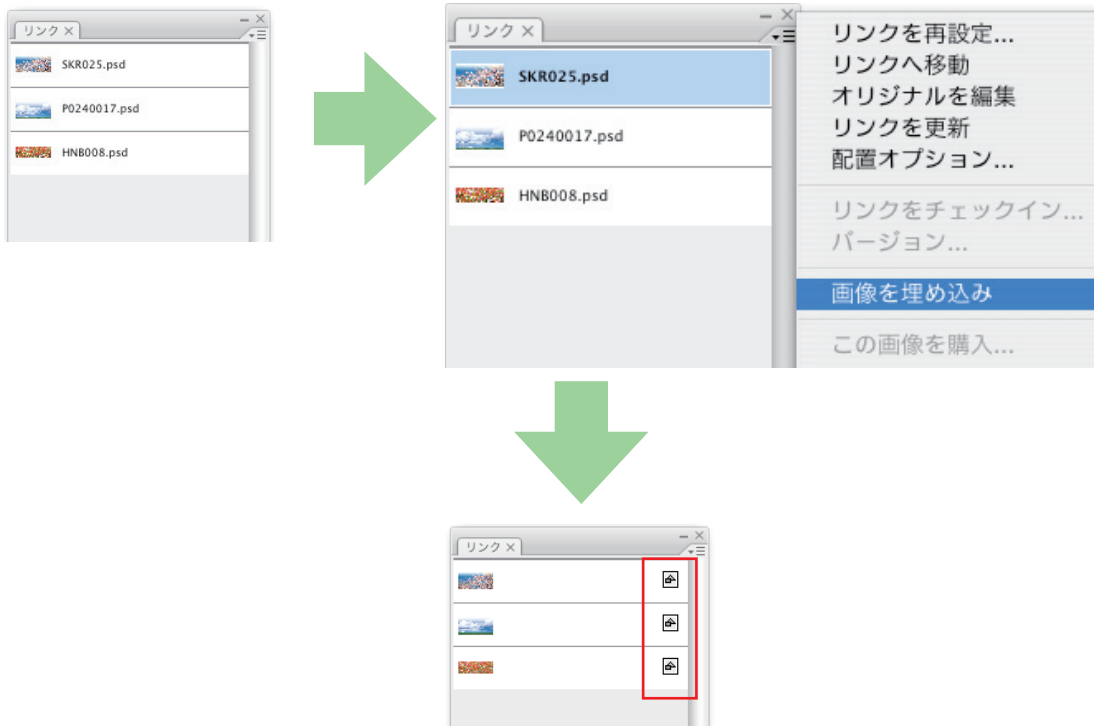




## 画像の配置

Illustrator CS～CS2は配置しているリンク画像は**全て埋め込み**にします。

Illustrator CS3～CS4は配置しているリンク画像は、リンクのままにかまいません。

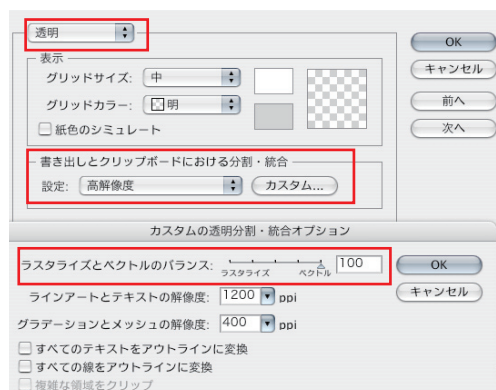


## 透明設定

バージョン 9 から透明効果が使用ができるようになりましたが、透明やボカシの部分の境界線がでる事がありますので、以下の設定を行って下さい。

「ファイル」→「ドキュメント設定」→「透明」  
「書き出しとクリップボードにおける分割・統合」の設定を【高解像度】にします。

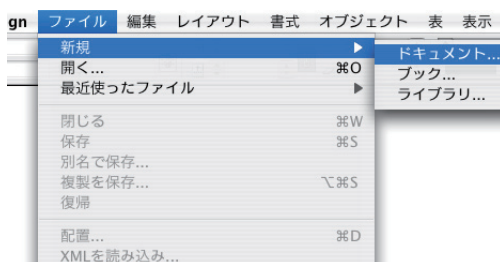
【カスタム】をクリックし、  
【ラスターライズとベクトルのバランス】を【100】にします。



# InDesign 新規ドキュメントの設定

## ドキュメント設定

「ファイル」→「新規」→「ドキュメント」を選択します。



- ページ数 : ページ数を入力します。
- 見開きページ : 冊子にする場合はチェックを入れます。
- ページサイズ : 仕上げサイズを選択します。
- 方向 : 縦、横を選択します。
- 綴じ方 : 右綴じ、左綴じを選択します。
- 裁ち落とし : 天、地、ノド、小口 3mmにします。
- 印刷可能領域 : 天、地、ノド、小口 0mmにします。

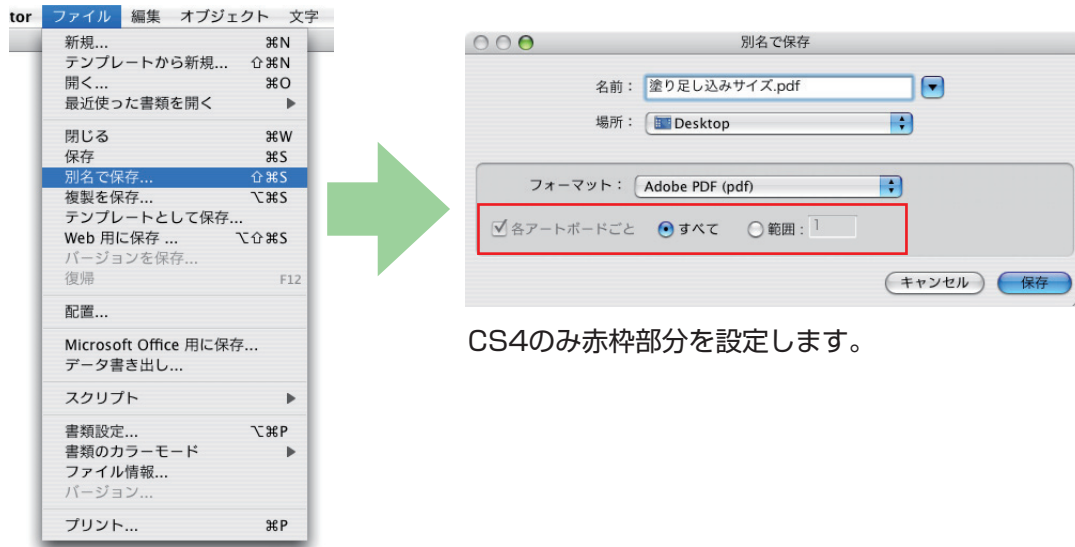


- マージン : 必要に応じて天、地、ノド、小口の数値を入力します。
- 段組 : 必要に応じて段組みの数と段組み間の空き数値を入力します。必要がなければデフォルトのままかまいません。
- 組み方向 : 縦組み、横組みを選択します。

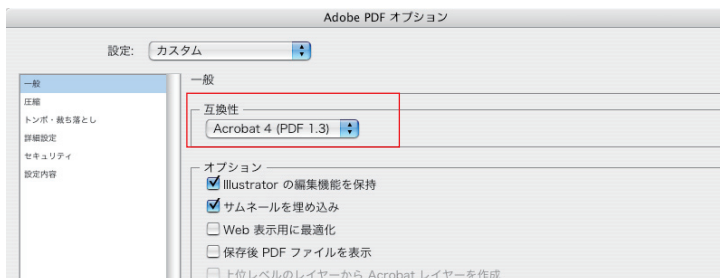
【OK】をクリックします。

# Illustrator PDFの書き出し手順

「ファイル」→「別名で保存」を選択します。  
フォーマットは【Adobe PDF (pdf)】を選択します。  
【保存】をクリックします。



## Illustrator CS

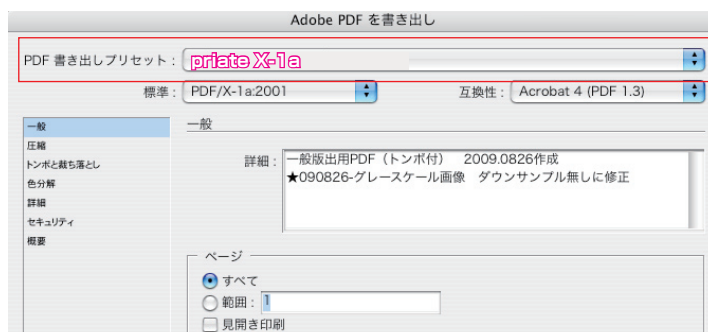


## 一般

### ● Illustrator CS

設定: カスタム  
互換性: Acrobat4 (PDF 1.3)

## Illustrator CS2~CS4

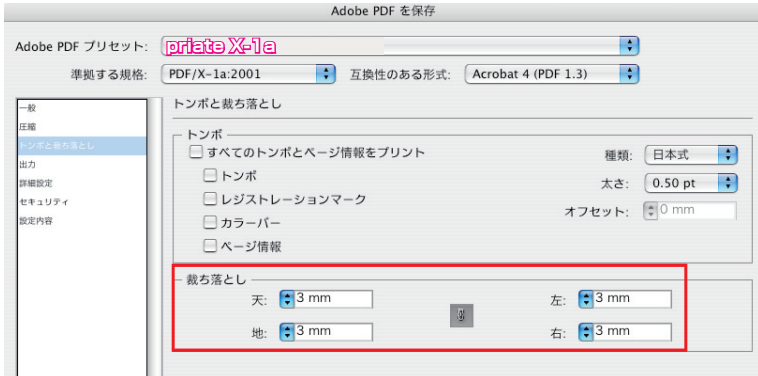


### ● Illustrator CS2~CS4

設定: private X-1a  
互換性: Acrobat4 (PDF 1.3)

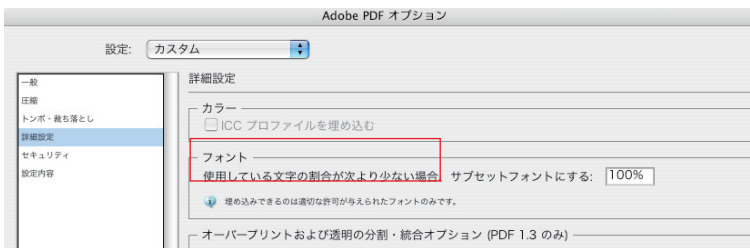


## 圧縮

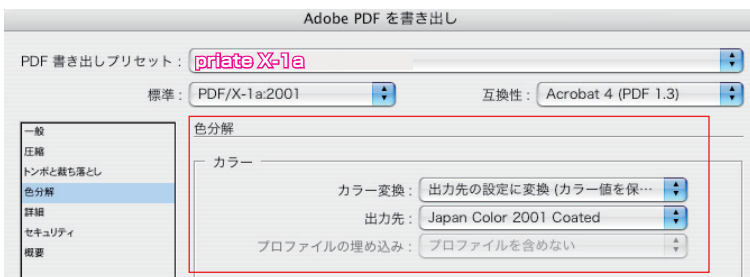


## トンボ・裁ち落とし

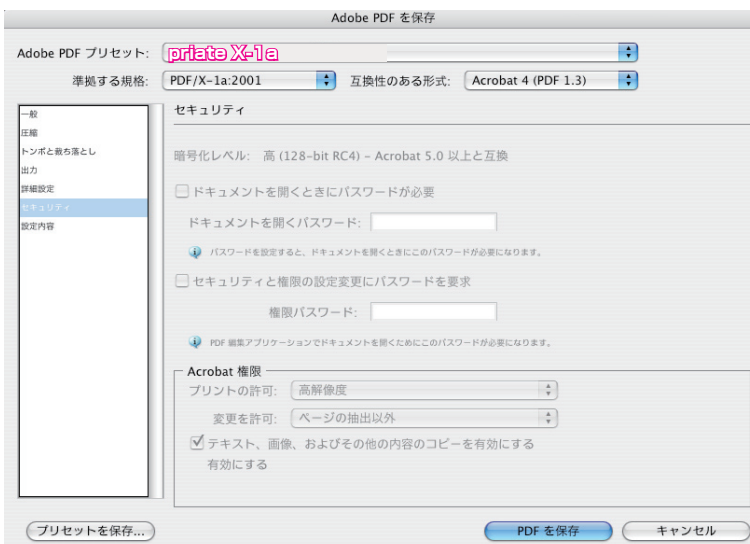
裁ち落とし 天地左右 3mm



## 詳細設定



## 色分解



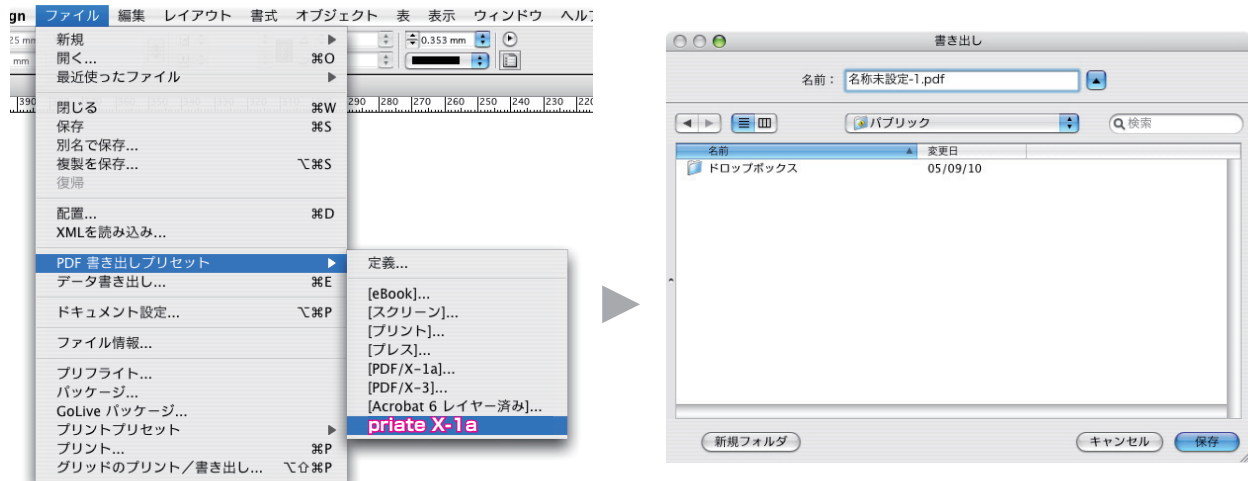
## セキュリティ

設定なし

【PDFを保存】をクリックします。

# InDesign PDFの書き出し手順

「ファイル」→「PDF書き出しプリセット」→「private X-1a」を選択します。  
保存先を指定して【保存】をクリックします。



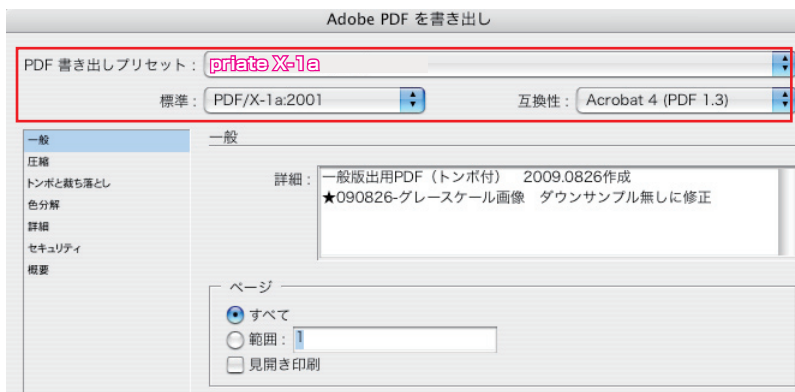
## InDesign CS



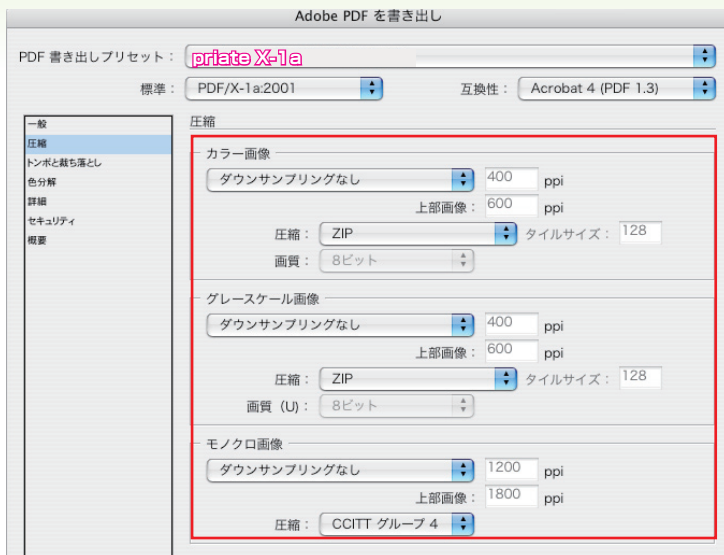
### 一般

プリセットが「private X-1a」になっているか確認して下さい。

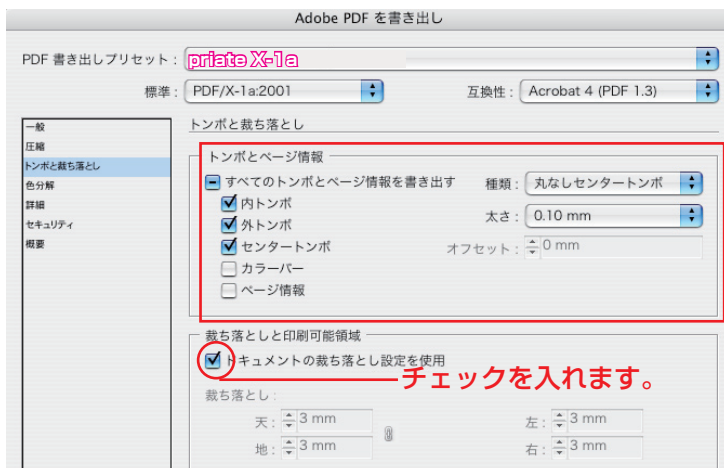
## InDesign CS2~CS4



PDF書き出しPDFプリセットが「private X-1a」になっているか確認して下さい。



## 圧縮



## トンボと裁ち落とし

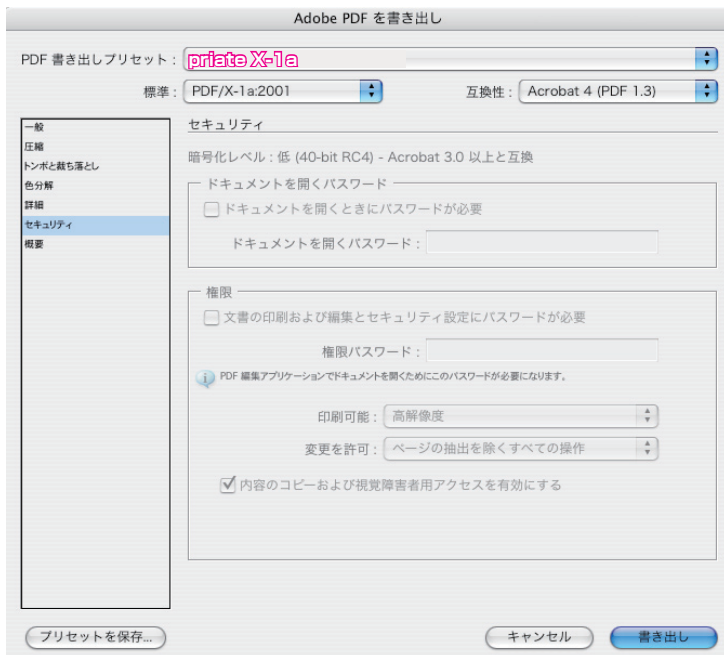
ドキュメントの裁ち落とし設定を使用  
にチェックを入れます。



## ● 詳細



## ● 色分解



## セキュリティ

設定なし

【書き出し】をクリックします。

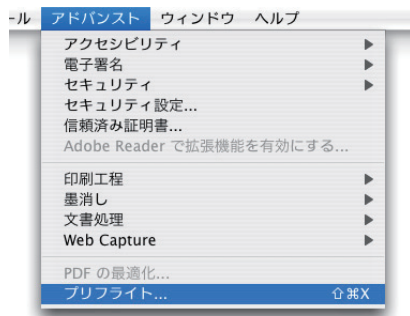
# プリフライトチェック (Acrobat)

※Adobe Readerではできません

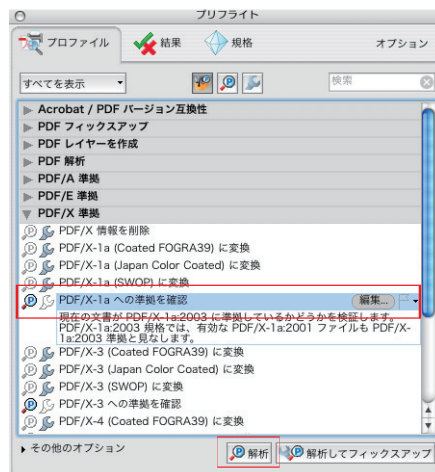
作成したPDFがPDF/X-1aに準拠しているかチェックをします。

「アドバンスト」→「プリフライト」を選択します。

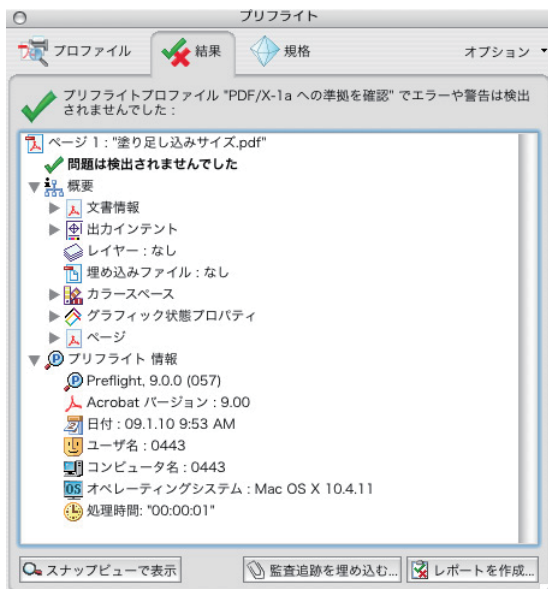
「PDF/X-1aへの準拠を確認」を選択し、【解析】をクリックします。



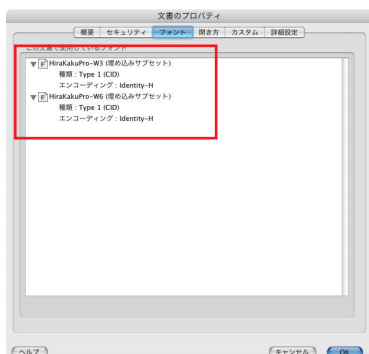
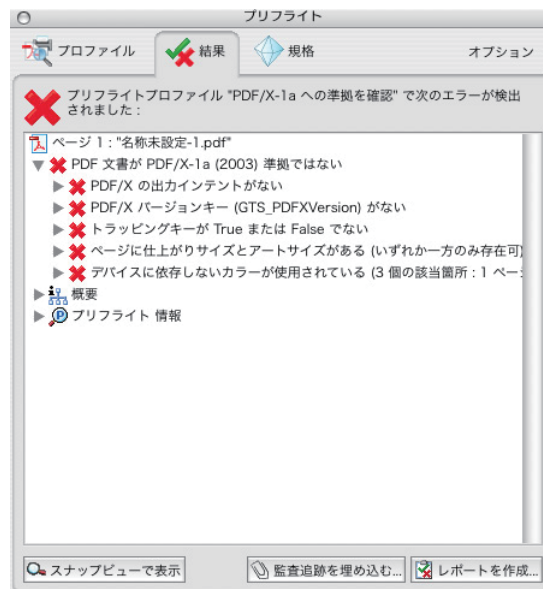
※Acrobat 9 Professional



OK



NG



フォントの埋め込みの確認は「ファイル」→「プロパティ」→「フォント」で確認することができます。

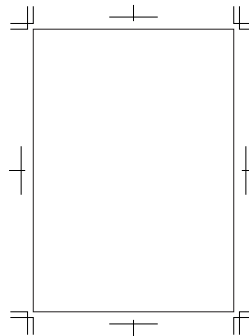
フォント名の横に(埋め込みサブセット)となっていれば埋め込みされています。



# データ作成の注意

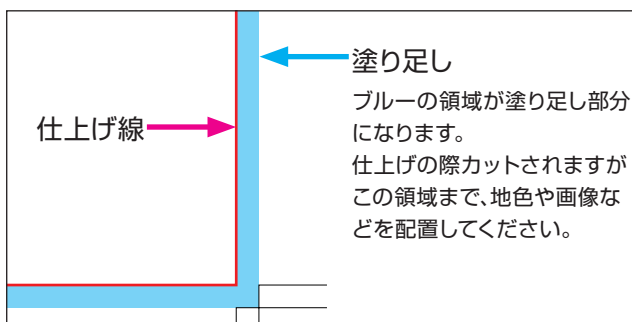
## トンボ

仕上げサイズの3ミリ外側にトンボ(トリムマーク)を付けて下さい。



## 塗り足し

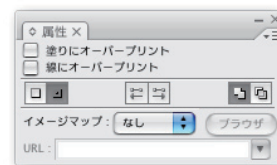
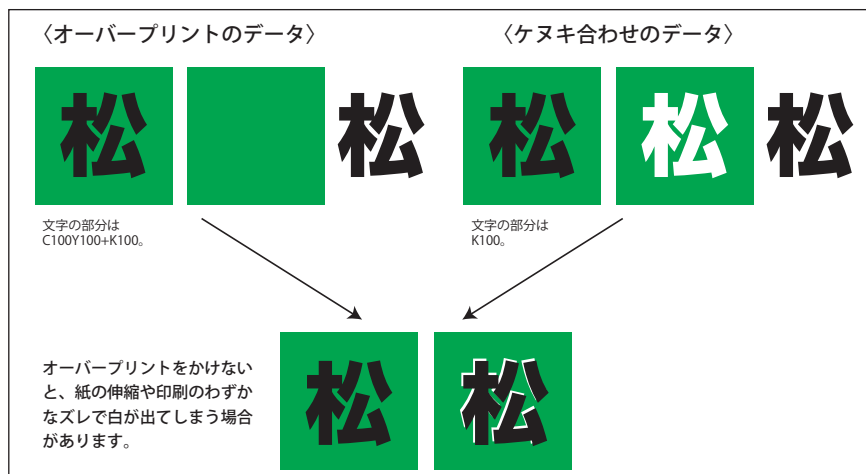
断ち落としがある場合、仕上げ線の外側3ミリまで塗り足しを付けて下さい。



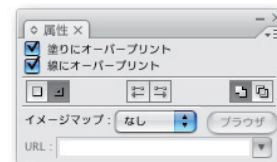
## オーバープリント

オーバープリントは各アプリケーションで設定して下さい。  
カラーの上にK100%の文字やオブジェクトを載せる場合は、オーバープリントを設定して下さい。

※白文字や白いオブジェクトにオーバープリントを設定すると透明になってしまうのでご注意下さい。



指定がオフです。



指定がオンになっています。

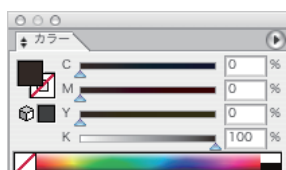
## 罫線

罫線は「塗り」ではなく、「線」に着色して下さい。

※「塗り」で着色した場合、画面上では見えていますが、印刷されませんので、ご注意ください。

線幅は0.3pt以上にして下さい。

0.3ptより細くなりますと、かすれたような線になって綺麗に印刷できません。



【塗りは線として出力できません。】



【罫線は線に着色して下さい。】

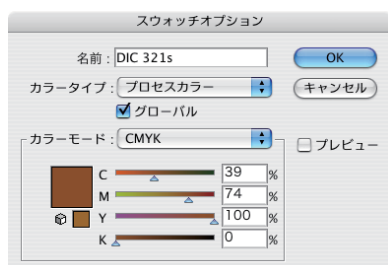


【線幅は0.3pt以上にして下さい。】

## プロセスカラーと特色

PDF入稿は特色印刷には対応しておりません。

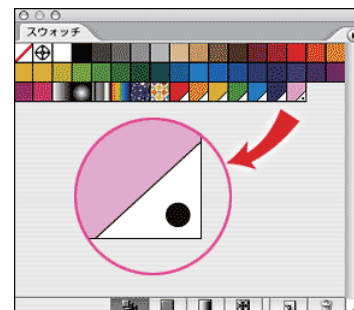
データを作成時に登録されました「特色」(スポットカラー)は入稿前にカラータイプを「プロセスカラー」に変更して下さい。



プロセスカラーです。



特色設定になっています。

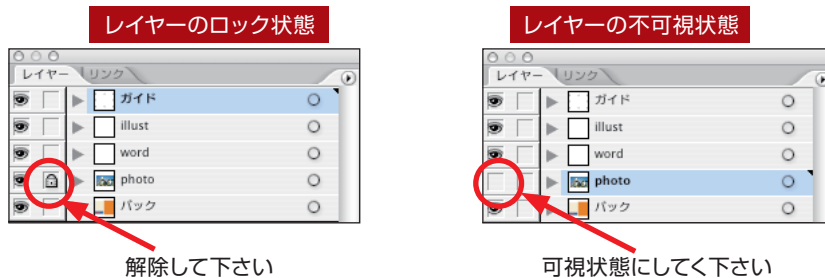


特色設定になっています。

## ロックと非表示

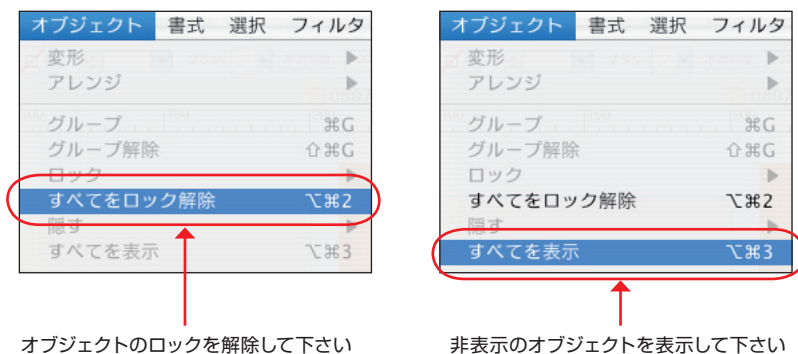
レイヤーのロック・非表示は必ず解除して下さい。

※解除されていない場合、正しく印刷されませんのでご注意ください。



オブジェクトのロック・非表示は必ず解除して下さい。

※解除されていない場合、正しく印刷されませんのでご注意ください。



# データ入稿の準備

データの準備ができましたら、ファイルを圧縮して入稿して下さい。

## ファイルの圧縮

LZH、ZIP、SIT のいずれかの圧縮形式をご利用ください。

ファイルの圧縮とはファイルのサイズを小さくする方法のことで、送受信が速くできるようになり、また複数のファイルをひとまとめにすることもできます。圧縮とは逆の「解凍」(または展開)作業をすると、圧縮する前と同じ状態に戻ります。

## ファイルの圧縮方法(Windows)

注文Noをつけたフォルダを作成して下さい。

フォルダの中には

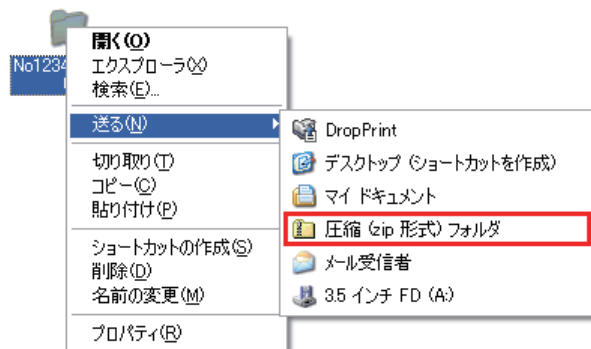
- 印刷用のPDFファイル
- スクリーンショット
- 注意事項のテキストファイル

などをまとめて入れて下さい。



Windows XP以降であれば標準で圧縮する機能があります。

圧縮したいフォルダを右クリックして、メニューの中の「送る」→「圧縮(zip形式)フォルダ」を選択します。



圧縮ソフトを使用する場合は、フォルダを図のように圧縮ソフトにドラッグアンドドロップします。

圧縮ソフトは Windowsでは「+Lhaca(ラカ)」(フリーウェア)がよく使用されています。他にもいくつかありますが、圧縮の形式は「zip」か「lzh」でお願いします。



圧縮が完了すると右図のような圧縮ファイルができあがります。



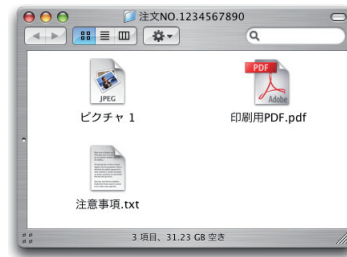
## ファイルの圧縮方法(Macintosh)

注文Noをつけたフォルダを作成して下さい。

フォルダの中には

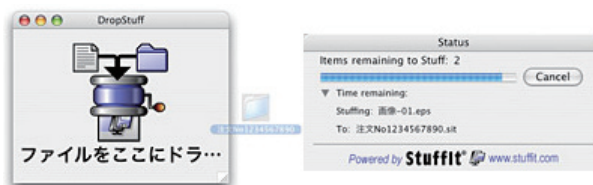
- 印刷用のPDFファイル
- スクリーンショット
- 注意事項のテキストファイル

などをまとめて入れて下さい。



圧縮ソフトは、「Aladdin DropStuff(ドロップスタッフ)」が一般的に使用されています。また「MacLha」も広く使われています。

圧縮ソフトにドラッグアンドドロップして下さい。



Mac OSXをお使いの方は、フォルダを「control」キーを押しながら選択(または右クリック)して、メニューから「アーカイブを作成」を選択します。



圧縮が完了すると右図のような圧縮ファイルができあがります。

